

番号	18	八田江改修記念 昭和十七年三月 佐賀縣知事 生悦住求馬			
所在地		佐賀市今宿町 3 枝吉水門脇			
災害別		水 害			
目的別		記念碑	建立年	昭和 1 7 年	
特記事項		一部判読困難 （参考）海童神社 水神の碑文			



八田江は佐賀市から有明海に注ぐ延長約8.2キロの感潮河川。かつては佐賀市内から流れる多布施川の主流が現在より南の大崎付近から南下し、八田江にそそいでいた。しかし、佐賀市内から筑後川にそそぐ佐賀江川が、以前は大きく蛇行し、しばしば排水不良による洪水が発生したため、昭和7年から10年の歳月をかけて枝吉まで新水路を掘削し佐賀江川と合流させ、八田江を排水路とする河川改修を行った。この碑は、その竣工を記念して昭和17年に建てられたもの。

(正面)「事業概要 本事業地域は佐賀江及び八田江両江沿岸排水不良地佐賀市外九箇村に亘る一團地に□□被害面積貳千四百七町に達す本地域の排水幹線は佐賀江八田江の両江にして佐賀

江は源を佐賀市に^{はっ}發し東進筑後川に合し八田江は市外大崎に源し南下有明海に注ぐ両江は有明海の潮位の影響を受くること^{おびただ}夥しく一旦豪雨に際會^{かい}するや佐賀江川河口近き城原川筑後川水位の影響は流出量に制限□加え一部上流に逆流し悪水と合し湛水^{すうじつ}數日に及び稲作は勿論人畜の被害^{すくなくらず}不^{おびただ}尠一方八田江は有明海の泥土□□□積に依り兩岸排水樋管を埋没し排水不能となり^{あたか}恰も一の湖水を形成し慘憺たる光景を呈す其の被害實に參千四百余石に達す故に縣は昭和五年工事實施の決議を□し佐賀江筋嘉興丁樋門を設け逆流を防止し八田江改修と^{あいま}相俟って新川の一部を改修し尚ほ八田江河口に□止樋門を設置し海泥の侵入を阻止すると共に根本的に除去する計画を樹立し昭和六年三月国庫補助の指令を得て昭和七年十一月着工爾來十箇口の歳月を重ね遂に昭和十七年三月竣功し積年の禍根を一層することを得たり」(原文はカタカナ表記)

(右面)「一 事業費 金八拾口萬貳千圓也 一 国庫 金四拾萬六千圓也 一 縣費 金拾七萬八千六珀圓也 一 地元寄附 金貳拾貳萬七千四百圓也 水路延長 七千九百米」

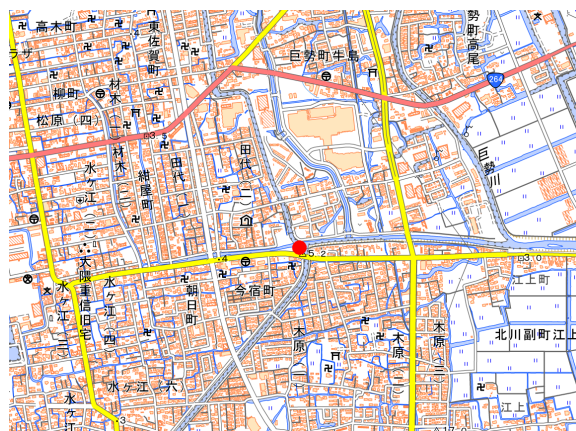
(下段) 事業関係者等 (略)



八田江（枝吉水門から下流方向）



枝吉水門（昭和 61 年 3 月竣工）



国土地理院電子国土 Web

一方、この八田江改修により、多布施川の水を農業用水に利用していた南川副地区では、多布施川の水が利用できなくなり、水不足と旱害に悩まされることとなった。そのことを碑文に記した「水神」が川副町犬井道の海童神社境内に建てられているので参考までに掲載する。

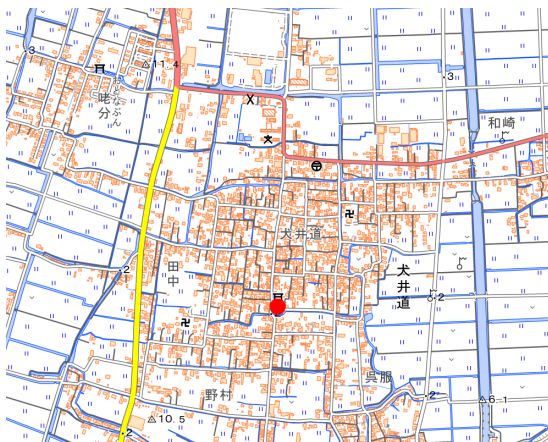
(参考) 水神

川副町犬井道 1098 海童神社境内



(正面)「由來我南川副は四百年前祖先の造成になる干拓の地に村造りせられし所にして而も佐賀郡最南端有明海に面し山を遠く望む位置にあり従つて沃野なりとは言え古來天然の水利に恵まれず幾百町歩の水田は実に成富兵庫茂安公の手に成りたる多布施川の清流と雨水に依つて育まれ來りしなり然るに昭和の初頭縣に於ては八田江を排水用として浚渫の工事をなすに至つて川底数個の水管の設置ありとは言へ川上川よりの用水全面的に遮断せられ加ふるに干拓造成せられし耕地千町に至らんとする我町に於ては旱害を被らざるはなき状態に立至れり為に大井手及川副土地改良区に於ては巨勢村より伏越取入樋管の新設又は水路改修等に之専念せられしも川副郷特に我町の旱害の解消は更にならず夏季に於ける農家の揚水への苦勞と

経費は想像に余りあるものあり就中去年の昭和二十六年七月八月の五十日に余大旱魃の際には南部堀の水田には巾三糎深さ三十糎に及ぶ亀裂を生するに至り前古未曾有の不作を招來せりこの時に当たり町會議員特に水利土木關係者を始めとし大井手川副両改良区諸氏は筑後川取水樋管の改修増設に流路の浚渫に或は多布施川の根本的改修に水路の管理等に始めと私事を持つて晝夜兼行努力を続けられ為に旱害をして最小限度に止め得たるは町民の等しく感謝口く能わさる所なり而して其後町民の自覚と協力に依り毎年の全町口水路の浚渫と大井手川副両土地改良区役員の指導と御協力とに依り灌漑水の導入に充分なる努力を拂ふるに至ると共に一方現在就工中の八田江淡水導入施設と寺井神明樋管の新設と相俟つて



国土地理院電子国土 Web

いよいよ
愈々その完成を期せんとするものなり是に於て大井手水神の御一体の惠興を得て碑を建立し以つて我町将来の旱害除去と五穀豊穰とを祈念せんとするもの也 昭和二十九年七月吉日 南川副町長 吉武喜久志」(原文はカタカナ表記)

(側面) 町長以下關係者氏名(略)

なお、碑文中にある「巨勢村より伏越取入樋管の新設」の経緯については、枝吉水門の対面にある「水功記念碑」(昭和7年9月建立)に記されているが省略する。